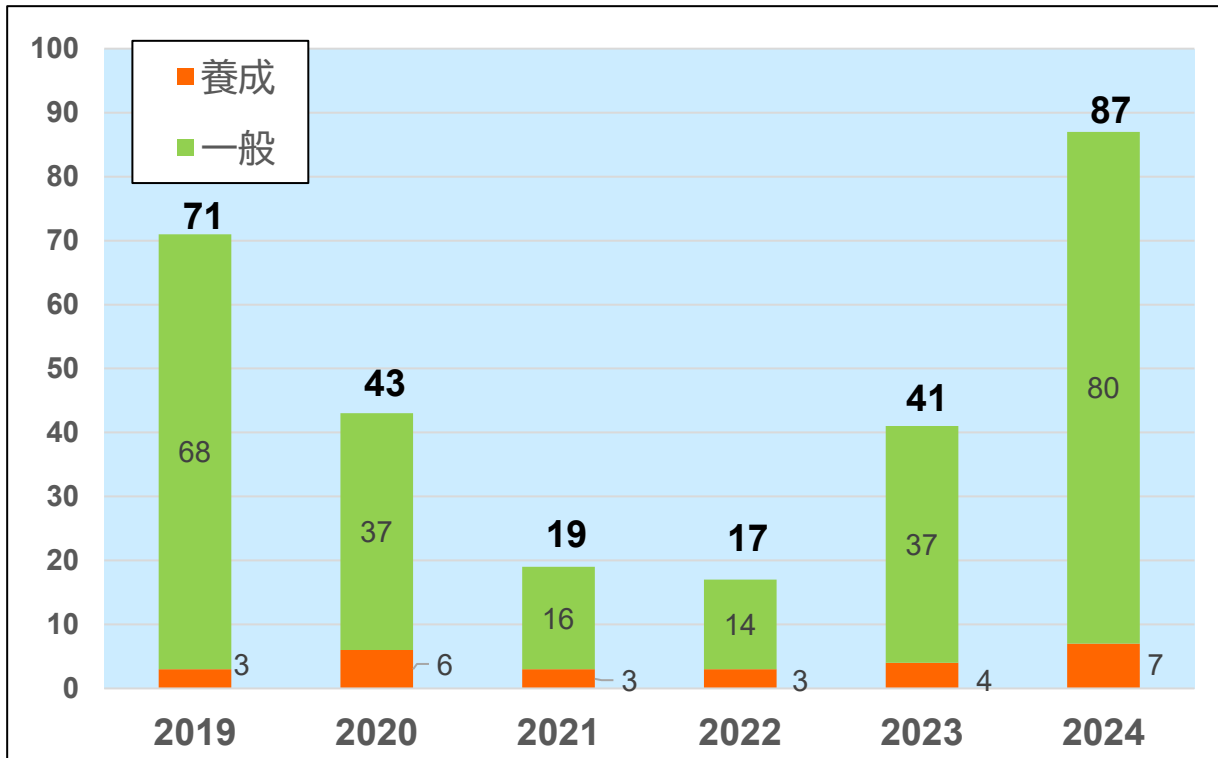


西日本鉄道における 直近の取組み

2025年7月7日
西日本鉄道株式会社
代表取締役 副社長執行役員
自動車事業本部長
松本 義人

バス運転士の確保

【バス運転士採用状況推移】



- ・養成運転士＝高校新卒者の運転士候補生
- ・2024年度は、一般運転士採用数目標70名に対し80名採用
- ・2024年度より、福岡空港内ランプバス（自家用輸送）専属運転士の採用開始（3名採用、80名の内数）

バス運転士の採用強化および待遇改善策の検討、実施専任部署として「人財戦略推進室」設置（2023・2024年度）

採用強化

- ✓ 採用エリアの拡大（九州外まで）
- ✓ 転職サイトの活用拡大
- ✓ 採用HPのリニューアル(視覚的PR)
- ✓ バス運転体験会への参画※福岡県と協同
- ✓ 外国人ドライバーの採用検討を促進

待遇改善

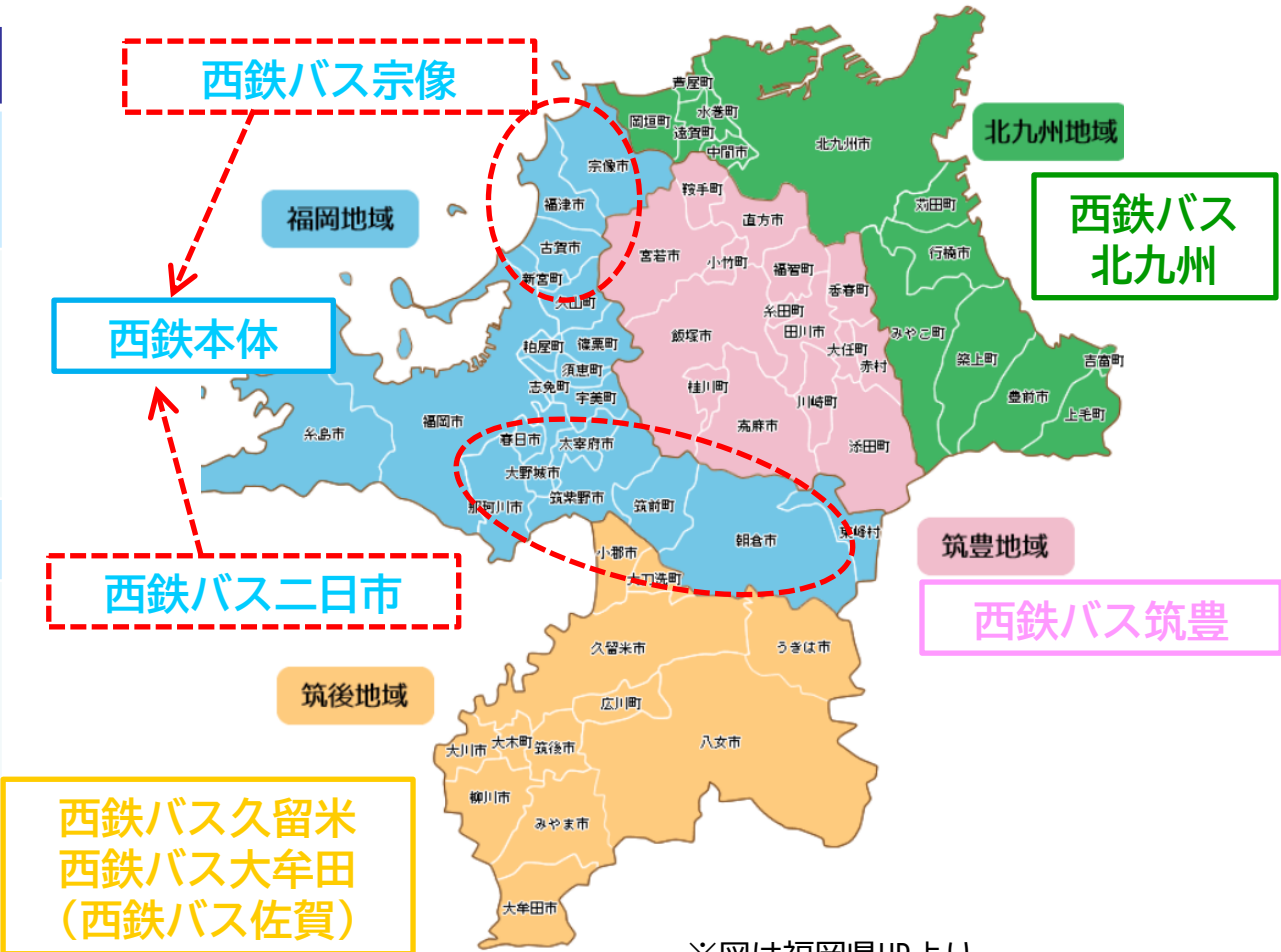
- ✓ 拘束時間、労働時間の短縮
- ✓ 環境改善（施設建替、リニューアル）
- ✓ ES向上（脱帽、「靴」見直し、Wi-fi整備）
- ✓ 給与計算方法の見直し
（拘束時間に見合った給与の支給）

給与単価は11%程度上昇する見込み

■ グループバス会社の再編

- ・ 1980年代後半～2000年頃、不採算路線の維持や価格競争への対応のため、地域や事業ごとの分社化を推進。
- ・ 労働力不足が深刻化する中、運転士の安定的確保が困難に。
- ・ 運転士採用強化、運営体制の一元化によるスリム化や対応迅速化を目的に、グループバス会社の再編を実施。

実施予定日	実施内容
2025. 10. 1	西鉄バス二日市(株) および 西鉄バス宗像(株)の吸収合併
・ 福岡市・周辺部および福岡地域郊外部における <u>乗合バス事業の運営一体化</u> ・ 上記による運転士等、<u>人材配置の最適化</u> ・ 管理・事務機能の一本化による <u>効率化</u>	
2026. 4. 1	西鉄観光バス(株)の吸収合併
・ 福岡地区は西日本鉄道(株)、北九州地区は西鉄バス北九州(株)に吸収 ・ <u>運転士の安定確保</u>および安全性のさらなる向上 ・ 繁閑に応じた運転士運用による <u>稼働率向上</u> ・ 運転士キャリアの多様化による <u>定着率向上</u> ・ 管理・事務機能の一本化による <u>効率化</u>	

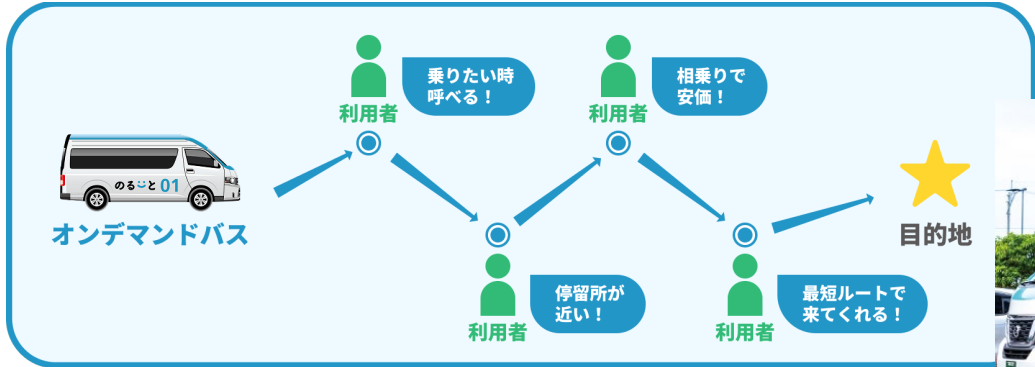


■ 持続可能な公共交通体系構築への取り組み

- ・ 今後もバス運転士不足は解消されないことを見越し、利用が少ないバス路線は減便や他モードへ転換を推進。
- ・ 他モードの一つとして、AIオンデマンドバス「のるーと」(ネクスト・モビリティ社)の導入を提案。
- ・ 合わせて、一部自治体とは持続可能な公共交通体系構築に向けた3者(+α)による連携協定を締結。

【福岡県内連携協定締結自治体（8市町）】

自治体	締結年月	関係者（3者以外）
宇美町	2022年3月	—
小郡市	2023年4月	
志免町	2023年5月	
筑紫野市	2024年3月	福岡第一交通(株)
那珂川市	2024年11月	
太宰府市	2025年2月	—
粕屋町	2025年2月	九州旅客鉄道(株)



※図および写真はネクスト・モビリティ社HPより



※写真は各市町HPより

■ インバウンド需要への対応

- ・ 2024年の九州への外国人入国者数は過去最高を更新（426万人、対前年+37%）。
- ・ 福岡空港第二滑走路の供用開始による国際便の増便によりさらなる増加が予想される。
- ・ 運転士不足の中、増便対応にも限界があるため、車両や運用工夫による輸送力増強で需要に対処。

1. 増便による輸送力増強

路線	増便実施日	便数[往復]
福岡～湯布院 [高速]	2024. 3. 1	8⇒13(+5)
	2024. 12. 20	13⇒14(+1)
博多駅～太宰府	2024. 3. 16	32⇒40(+8)※
福岡～熊本[高速]	2024. 10. 1	78⇒82(+4)

2. 連節バス導入による輸送力増強（博多駅～福岡空港国際線）

3. 昼間帯の輸送力振替による輸送力増強 （博多駅～福岡タワー）



九州MaaSの活動推進

- ・ 2024年4月1日、九州7県および交通事業者等で「（一社）九州MaaS協議会」を設立（現時点で108者加盟）。
- ・ 官民が一体となってMaaSを推進することで、移動円滑化や移動需要の創出に取り組み、公共交通の利用促進や観光振興を達成するとともに、人材育成やコスト効率の追求を目指す。
- ・ 当社は九州経済連合会およびJR九州とともに、事務局を担当。
- ・ MaaSアプリ“my route”上で交通や交通＋施設等のデジタルチケットを造成、販売中。
- ・ 2024年11月1日より、JR九州全線＋九州内のほぼすべての路線バス・一部船舶が各3日間乗り放題となる“ALL KYUSHU PASS”をインバウンド向けに発売開始。



【今後の活動内容】

- ・ 会員のさらなる拡大
- ・ 各ワーキンググループの取組みの推進
- ・ QRコードを活用したサービス拡大
- ・ 各種データ連携の推進
 - ※バスにおいては、現在位置情報（動的データ）の連携検討中
- ・ フィジカル連携の実施拡大

ワーキンググループ名	リーダー	実施内容
アプリ利活用WG	九経連	企画乗車券(デジタルチケット)造成の推進
ボードレス推進WG	西鉄	乗り継ぎの利便性向上・インバウンド対応といったボードレス化の側面支援
葉の交通WG	九経連 第一交通	ラストワンマイルの利便性向上に向けた次世代モビリティ等の検討・導入推進の側面支援
プロモーションWG	JR九州	対外発表、ローンチPR効果最大化・PR継続
観光WG	観光機構 JR九州	観光・商業などの他分野連携の推進
データ利活用WG	福岡県	販売・利用データの収集・分析および利活用手法の確立、運行情報のデジタル化推進

カーボンニュートラルの取組み

- ・ 2022年6月、既存の路線バスを電動化する「レトロフィット電気バス」の試験導入を開始。
- ・ 2024年度までに当社およびグループ会社で合計51台導入。2025年度も32台導入を計画。
- ・ 合わせて、国産電気バスを1台導入。2025年5月24日より稼働開始。

【レトロフィット電気バス…導入から15年程度経過した車両を改造】



①エンジン・トランスミッション取り外し



②モーター・バッテリー取り付け



③バッテリーパックをエンジンルームに4台、車内に6台搭載



④運行ごとに営業所構内で充電

【国産電気バス】

- ・ いすゞ自動車製BEVフルフラット路線バス
※Battery Electric Vehicle
- ・ アイランドシティ営業所（福岡市東区）に配置
- ・ 同地区と天神地区を結ぶ路線で1日3往復（約80km）運行中

